



尾張中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT 2017-2018



ロータリー：
変化をもたらす

2017-2018年度国際ロータリーのテーマ

会長：大野東秀
幹事：富田昭夫
会報委員長：熊澤勝則

承認日：1984年1月30日
例会日：毎週水曜日
例会場：名鉄グランドホテル・CBC自動車学校

事務局：〒481-0004 北名古屋市鹿田坂巻5-1
TEL:0568(25)4701 FAX:0568(25)4702
mail:kita2a-owarichuo-rc@rhythm.ocn.ne.jp

水と衛生月間

2018年3月14日 第1620回 例会
名鉄グランドホテル

司会 会場委員会委員長 松岡幸彦

点鐘 会長 大野東秀

唱和 ソングリーダー 住川誠一

四つのテスト

会長挨拶 会長 大野東秀

こんにちは！

暑さ寒さも彼岸までの言葉通り春爛漫の季節を迎えました。昔から「盆、暮、彼岸」と言われていますが、お彼岸は日本特有の大きな仏教行事の一つです。私達は毎日欠かさず仏道の修行を続けなければならない…とは思いますが、それぞれが自分の仕事をもっているため、毎日仏道に専念することは困難であり、ややもすると怠りがちになるものです。

そこで、一定期間を定めて修行の機会を作ることが考えられ、一年のうちで一番気候の良い春分、秋分の前後一週間が「彼岸会」つまり仏道実践週間として定められ、現代においても「春分の日」「秋分の日」は国民の祝祭日とされました。

本来ならば毎日お墓まいりをしたり毎朝お仏壇にお灯明、お線香をあげなければなりません。誰もが生活のための自分の仕事に追われて、つい忘れがちである。そこでせめてお彼岸の間だけはそれを実行するように！とすすめているのが私達のご先祖であります。

言ってみれば忙しい！忙しい！と言ってお墓まいりにも来ないが、忙しいのは家が繁盛して

本日のお知らせ (3月28日)

P E T S 報告

会場/CBC自動車学校
担当/会長エレクト、次期幹事
(1621回)

次回のお知らせ (4月4日)

第10回定例理事会 (11:30 ~)

今月のお祝い

クラブフォーラム

会場/CBC自動車学校
担当/会長、幹事、会場委員会
(1622回)

いるのだから結構なことだが、お彼岸の時ぐらいいはお墓まいりに来なさいよ！と私達のご先祖が催促しているのがお彼岸かもしれません。このご先祖たちの気持ちをくんで私達は3月18日～24日のお彼岸週間には必ずお墓まいりをし、仏道を実践してご先祖さまにも安心していただきましょう！



幹事報告

幹事 富田昭夫

1. 地区内クラブ社会奉仕活動現況調査の件
地区より地区内クラブ社会奉仕活動現況調査の協力依頼がまいりましたので、檜吉社会奉仕委員長にお願いし、地区に報告いたします。
2. 第19回西尾張分区RC美術展の件
西尾張分区RC美術展が3月20日より25日まで稲沢市荻須記念美術館に於いて開かれます。皆さんお立ち寄りください。(案内はがき配布)
3. IM、新年例会、家族会の会費の引き落としを3月26日にさせていただきます。明細は個々にお渡ししています。
4. 北名古屋市青少年育成会議・北名古屋市少年補導委員会・北名古屋市少年少女発明クラブ・北名古屋市更生保護女性会の皆さまより助成金贈呈に伴いお礼状がとどいております。回覧させていただきます。
5. 次週3月21日はクラブ計画書には夜間例会となっておりますが、春分の日(祭日)となり休会とさせていただきます。お詫び申し上げます。例会回数は繰り上げとさせていただきます。

出席報告

委員長 太田利和

第1620回

会員数：32名 出席数：25名 出席率：92.15%
前々回第1618回 修正出席率：100%

ニコボックス

委員長 今村康宏

大野(東)君 春のお彼岸です。お墓参拝をしましょう！

片山君 結婚記念日を祝福していただいて。

沖野君 業務多忙

住川君 本日、卓話をさせていただきます。

池山君 春ですね。あたたかくなりました。

《第1620回例会 ニコボックス》

寄付会員数	5名
本日の合計額	18,000円
本日までの累計額	1,120,000円

委員会報告

- 会員増強委員会 太田委員長
新入会員について
- ゴルフ会 松尾君
5/16 親睦ゴルフ開催(場所未定)
- その他 宇田君
3/19 18時～NHKはっとイブニング出演予定

卓話

「札所巡りと街道歩き」

住川誠一君



本格的に札所巡りと街道歩きを始めて凡そ25年くらいになろうとしております。

四国八十八ヶ所札所めぐりは皆さんお馴染みと思いますが、西国三十三ヶ所観音さんめぐり等、我が国には無数の札所めぐりがあります。1200年ほどの伝統があるようですが、長い年月の内にすっかり日本人の心の中にしみついたのかも知れません。

又、東海道五十三次を始めとする街道歩きも古えの事を知るには又とない教材のように思います。

草津宿にあります

「もののふの やはせの船は 早くとも

いそがば廻れ 瀬田の唐橋」

の類いですとか、石部宿の「石部金吉」の由来ですとか、枚挙にいとまがありません。

又、中山道は山間部が多いため、かくれ里の風情が良く残っており落ち葉道を踏んで歩くのは最高に楽しい時間です。

宮ノ越宿で、地元の方とお話ししてありましたら「この区域は宮大工が昔から多く、私の父は鋸の目立て職人でした」とお話しくださいました。宮大工が多かったことも初めて知り、こと程左様にいろいろな教えをいただくことも楽しみの一つであります。

時は春、大いに野山歩きを謳歌したいものです。

